

IoTシステム設計・開発 復習

Chapter 2 戦略とマネジメント

企画・戦略

1. IoTプロジェクトの流れ

第0段階 **PoC** ()

試作開発の前段階 検証やデモのこと

第1段階 () などを活用して

() 収集 見える化する

第2段階 収集したデータの分析

() 活用

第3段階 IoT機器を自動制御

小さなシステムの成功事例で

() を蓄積

企画・戦略

2. 代表的フレームワーク

企画・推進のために

()

() が不可欠

フレームワーク

() のための決まった手順

フレームワークの例

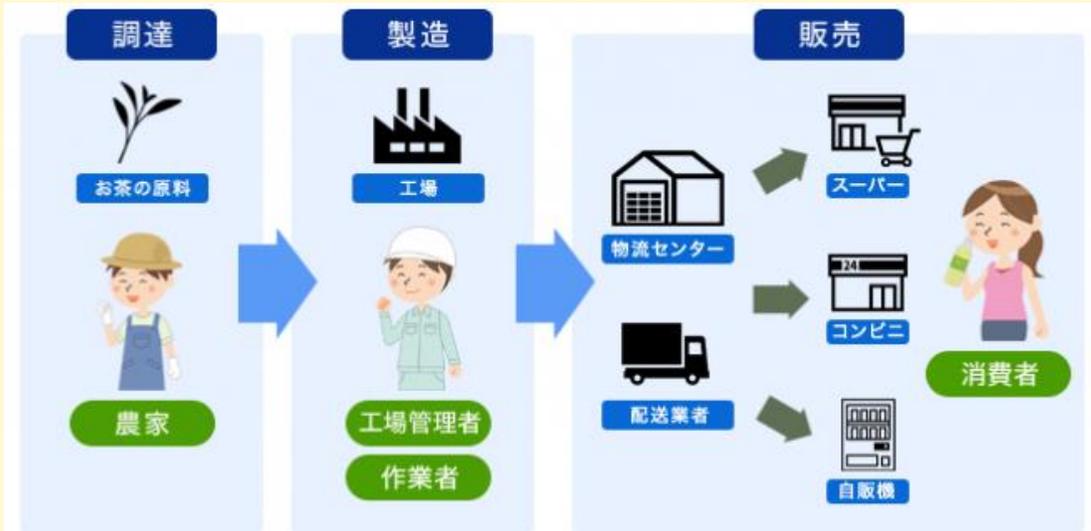
・ () フォース分析

・ () C分析

・ () 分析 (ほか多数)

企画・戦略

3. バリューチェーン



例 PET緑茶のバリューチェーン

バリューチェーン

()

事業活動で生み出される価値を
一つの流れとしてとらえる考え方

活動のどこで

() が生まれているか分析



独自の価値

特定の人、場所、施設、商品、サービス
などに付け加えられた独自の価値

プロダクトイノベーション

イノベーション = ()

プロダクトイノベーション

新しい ()、() で

新しい () を創造 生活を変える

家電製品、自動車、PC、スマホ など

プロダクトは () に沿って成長

例 HDDからSSDへ

ビット単価は高いが、高付加価値

プロセスイノベーション

プロセスイノベーションとは

()、()において

現在のやり方、方法を革新して

()を生み出す

製造業の例 ～ スマート工場

生産・製造方法を改良

()向上

()向上

()削減

生産 ()向上

スマート工場の実例

製造装置の動作を（ ）

→ データ収集・分析

→ （ ）向上

装置の入れ替え

→ （ ）率向上

（ ）向上

量産前の試作：組み合わせが多く評価が大変

何れも分析・解析に（ ）を活用

Society 5.0

情報社会 Society 4.0の問題点

・知識・情報が（ ）されにくい

・分野（ ）的な連携が不十分

↓

（ ）を生じる

Society 5.0 スマート社会

・（ ）空間と

（ ）空間を融合 CPS

・IoT：（ ）空間

BD：（ ）空間

AI：（ ）空間

ロボティクス：（ ）空間

プロジェクトマネジメント

プロジェクトマネジメント=PM

プロジェクトを進めるため

() を調達

() 把握・管理を行う

資源 = ()

問題 = () は必ず発生

何を () して対応するか、

即時判断が求められる

プロジェクトの () の状況の把握

ゴールへの適切な () が必要

プロジェクトと開発手法

開発手法

開発（ ）を（ ）化、
計画・管理するフレームワーク

代表的開発手法

()

()

()

スパイラル

スクラム など

企業間連携

①垂直統合

() で行う

自動車メーカー等

②水平分業

自社の () に集中、他は外注

③垂直分業

() の上流、下流で分業

④新連携

() 分野の事業者が連携

スキル管理

従業員のスキルを（ ）

社内で（ ）

スキル

学習・研修で身に付ける（ ）など

ビジネススキル

知識・経験に加え、社員マネジメント、
交渉力、モチベーション維持、保有資格 等

スキル管理 = （ ） 資源の有効活用